



11 / 20 (月) の行事

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 11月13日(月)10時00分

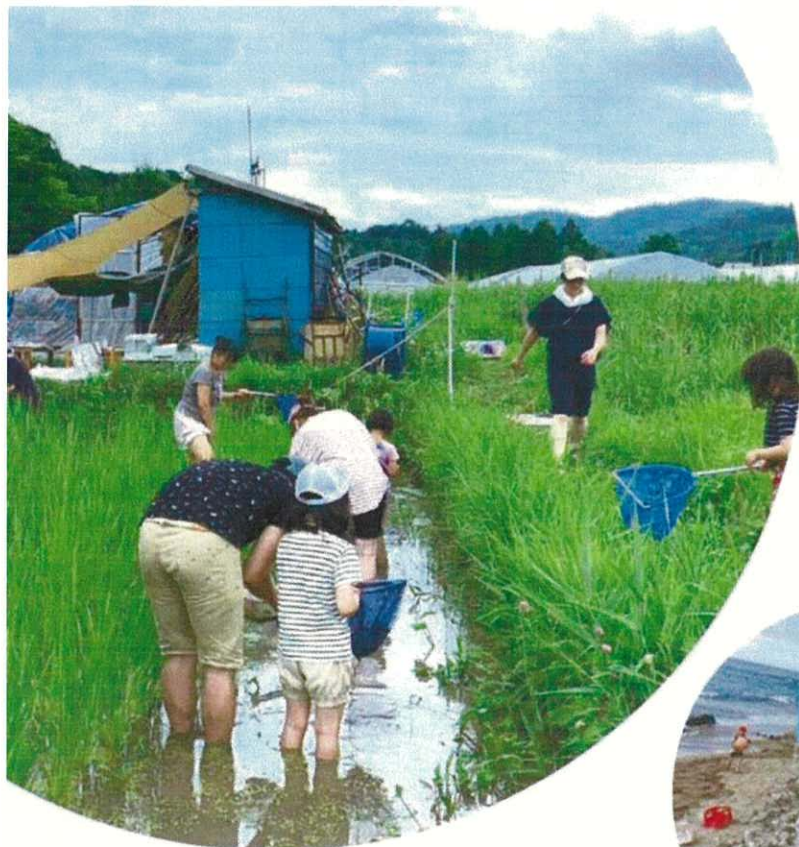
発表項目 (行事名)	第14回 北海道e-水(イーミズ)フォーラムの開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	発表場所
概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道の豊かな水資源と美しい自然を一体として守り、未来へ引き継いでいくことの大切さを考える「北海道e-水フォーラム」を開催します。 ○ 道内の水環境保全活動に取り組む団体による発表や有識者による基調講演等を実施します。 </div> <p>1 日時 令和5年(2023年)11月20日(月)18:00~20:30</p> <p>2 会場 札幌国際ビル 8階国際ホール(札幌市中央区北4条西4丁目1番地)</p> <p>3 主催 北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団</p> <p>4 主な内容</p> <p>(1)主催者挨拶 北海道環境生活部長、北海道コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長、(公財)北海道環境財団理事長</p> <p>(2)寄付金贈呈式 北海道コカ・コーラボトリング(株)から(公財)北海道環境財団へのご寄付</p> <p>(3)活動団体発表 活動団体の活動成果発表</p> <p>(4)基調講演 『海の哺乳類からのメッセージ』講師:国立科学博物館動物研究部研究主幹 田島 木綿子氏</p> <p>5 お申込み方法 参加費無料 定員150名 要事前申込・先着順</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <p>お申込フォーム https://www.heco-spc.or.jp/emizu/emizu_forum/form/index.php 電話:011-218-7811 FAX:011-218-7812 ※FAXの場合は、お名前(ふりがな)、電話番号、ご所属(あれば)を明記の上、お申し込みください。</p> </div>		
参 考		<p>○北海道e-水プロジェクトとは</p> <p>平成21年(2009年)11月に道と北海道コカ・コーラボトリング(株)が締結した「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、同社が販売している「い・ろ・は・す天然水」540mlPETの売上の一部の寄付を受け、道内の水環境を守る活動に取り組んでいる団体に助成等を行うもので、平成22年(2010年)から同社及び(公財)北海道環境財団と協働で実施しています。</p>	
報道(取材) に当たって のお願い	フォーラム開催を広く周知するため、記事掲載等に御協力をお願いします。		
他のクラブ との関係	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">同時配付</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">同時レク</div>	経済記者クラブ ※北海道コカ・コーラボトリング(株)が配布	
担 当 (連絡先)	<p>(プロジェクト全般については)</p> <p>環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課 (課長補佐(水環境対策)菱沼)</p> <p>電話 [ダイヤルイン] 011-204-5193 (内線 24-255)</p> <p>[公用スマートフォン]011-585-6102(内線23677)</p> <p>(フォーラムについては)</p> <p>(公財)北海道環境財団(企画事業部長:内山)電話:011-218-7811</p>		



ぜひ会場にお越しください!

北海道e-水プロジェクトは、14年目の活動を実施中です。今年も採択された団体が道内各地で元気に活動を展開しています。

北海道e-水フォーラムはそれらの活動団体が行った成果を一般の皆さまにお知らせする場として実施します。また、コロナ禍を除き毎年行っていた基調講演では、国立科学博物館の研究者として海の哺乳類の解剖調査に携わってきた田島木綿子さんにご講演いただきます。ぜひ会場まで足をお運びください。



第14回 北海道e-水フォーラム

2023年11月20日 18:00~20:30 [開場17:30]

会場 札幌国際ビル8階 国際ホール
札幌市中央区北4条西4丁目1番地
JR札幌駅より徒歩3分・地下鉄さっぽろ駅直結

参加費 無料(定員150名) **要事前申込み・先着順**

※お申込み方法は裏面をご覧ください。

2023年活動団体発表

e-水コース7団体(カッコ内は主な活動地域)

- ①大沼ラムサール協議会(七飯町)
- ②オホーツク魚類研究会(美幌町)
- ③一般社団法人楽子森(札幌市)
- ④羽幌みんなで作る自然空間協議会(羽幌町)
- ⑤特定非営利活動法人人まち育てI&I(道央地域)
- ⑥一般社団法人北海道山女魚を守る会(道央地域)
- ⑦UWクリーンレイク洞爺湖(洞爺湖)

※しずくコース12団体(裏面のMAPに団体名を記載しています)の報告は録画し、後日北海道e-水プロジェクトのホームページで公開いたします。

基調講演

※詳細は裏面をご覧ください。

『海の哺乳類からのメッセージ』

講師: **田島 木綿子** 氏
(たじま ゆうこ)

国立科学博物館 動物研究部 研究主幹
獣医師 / 博士(獣医学)



参加者プレゼント

ご参加の皆さまに、北海道の天然水「いろ・は・す天然水」540mlペットボトルを1本ずつプレゼントします。

※2019年11月より「いろ・は・す天然水」540mlペットボトルの売上の一部は、「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されています。



北海道e-水プロジェクト

主催: 北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団
お問合せ: 北海道e-水プロジェクト事務局(公益財団法人北海道環境財団)
TEL:011-218-7811 E-mail:emizu@heco-spc.or.jp

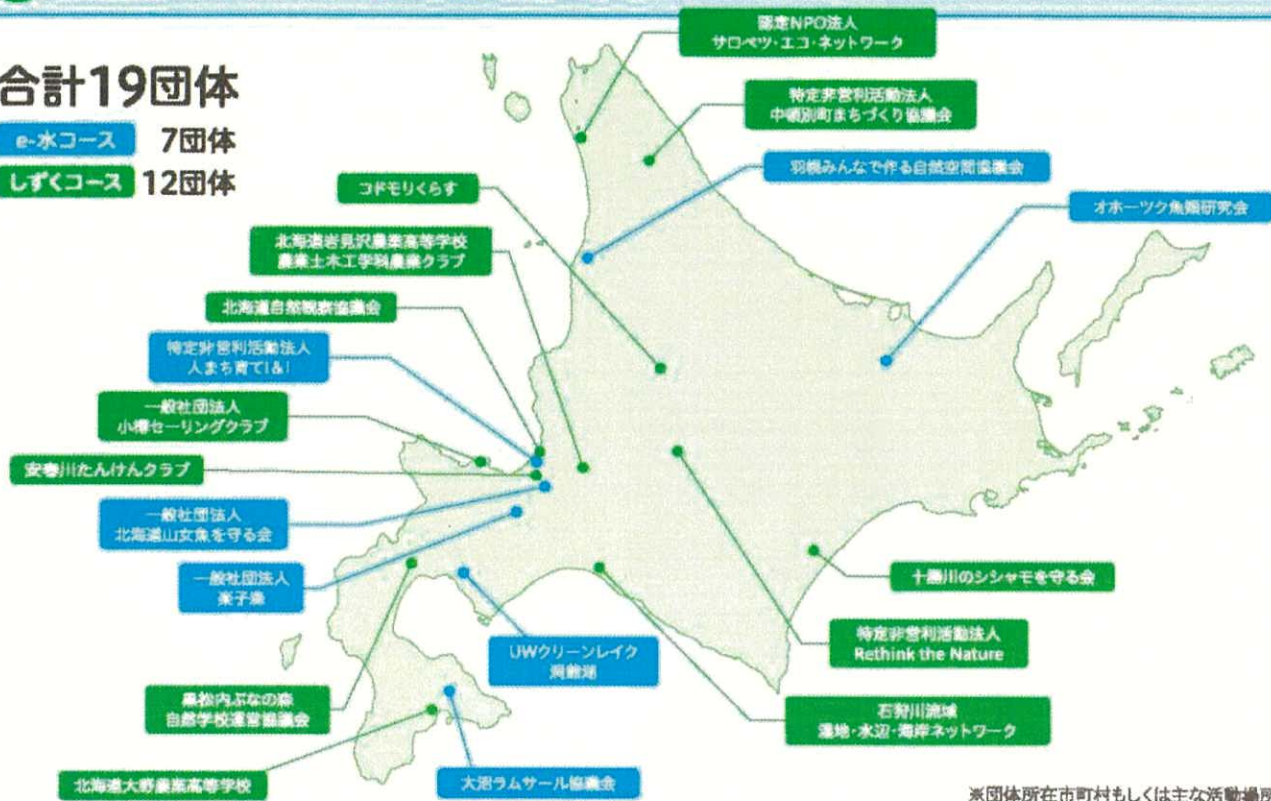
※北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。

裏面もご覧ください

合計19団体

e-水コース 7団体

しずくコース 12団体



※団体所在市町村もしくは主な活動場所

基調講演



『海の哺乳類からのメッセージ』

四方を海に囲まれた島国—日本。それらの海には我々と同じ仲間の哺乳類が棲んでいます。クジラ・イルカの鯨類、アシカ・アザラシの鳍脚類、ジュゴン・マナティの海牛類、そしてラッコとホッキョクグマです。彼らは、脊椎動物の長い進化の過程でせつかく上陸作戦に成功したにも関わらず、再び海に戻っていった変わりものたちともいえます。そんな彼らが自ら海岸に打ち上がってしまうストランディングという現象が世界中で発生しており、国内では年間300件の報告があります。残念ながら死んでしまった個体を調査・研究すると、その死因や彼らの生き様がわかります。そして、彼らが生きている海という環境がいかに汚れてしまっているか、危機的状況にあるか、がわかります。そして、その主因は人間社会にあることも垣間見えます。彼らと共に前に進んでいくために我々人間は何をすればいいのか？そのヒントになるよう彼らのさまざまな情報をご紹介します。

講師

田島 木綿子氏(たじま ゆうこ)

国立科学博物館 動物研究部 研究主幹
獣医師 / 博士(獣医学)

■プロフィール

日本獣医生命科学大学獣医学部卒業、東京大学大学院農学生命科学研究科にて博士号(獣医学)取得。米国にある海棲哺乳類委員会の招聘研究員として、テキサス大学とThe Marine Mammal Centerに在籍後、国立科学博物館の支援研究員を経て現職に就く。病気とかたちに関するエトセトラを研究対象とし、ストランディングしてしまう個体を調査・研究するために全国を飛び回る。著書に『海獣学者、クジラを解剖する。』、『クジラの歌を聴け』(共に山と溪谷社)、『海棲哺乳類大全』(緑書房)、『イルカの解剖学』(NTS出版)などがある。

お申込み・お問合せ

北海道e-水プロジェクト事務局(公益財団法人北海道環境財団)までお申込みフォーム・お電話(011-218-7811)・FAX(011-218-7812)のいずれかでお申込みください。

- ・可能な限り「お申込みフォーム」をご利用ください。
- ・FAXでお申込みの方は、お名前(ふりがな)、電話番号、ご所属(あれば)をご記入の上、送信してください。
- ・いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。



お申込みフォーム